

## 令和2年度公共事業の再評価に対する意見募集の結果について

### 1 意見募集期間

令和2年7月17日（金）～令和2年8月17日（月） 32日間

### 2 意見の送付方法 郵送、FAX、電子メール

### 3 資料の閲覧（委員会資料と同じ（資料1～資料2））

#### （1）県民サービスセンター等での閲覧

・県庁内

県民サービスセンター（県庁東館2階）、交通基盤部建設政策課（本館2階）

#### （2）静岡県ホームページ

### 4 意見募集結果（33件）

#### （1）意見の提出状況

番号	事業箇所名	件数	備 考
01	一般国道136号雲見松崎拡幅	3	・事業の継続を要望する意見
02	主要地方道吉田大東線	4	・事業の継続を要望する意見
04	二級河川堀留川	1	・事業の継続を要望する意見
06	二級河川坂口谷川	5	・事業の継続を要望する意見
07	一級河川境川	5	・事業の継続を要望する意見 ・維持管理や利用に関する意見
08	立花寺沢	1	・事業の継続を要望する意見
17	水川橋向	1	・事業の継続を要望する意見
18	平松藪下B	1	・事業の継続を要望する意見
20	沼津港海岸	1	・事業の継続を要望する意見
21	下田港	1	・事業の継続を要望する意見
22	都市計画道路焼津広幡線	9	・事業の継続を要望する意見 ・供用後の安全等に関する意見
23	都市計画道路谷田幸原線	1	・事業の継続を要望する意見
	合計	33	

#### （2）提出された意見

別紙のとおり。

### 5 意見に対する対応

（1）提出された意見に対する県の考え方を別紙のとおり取りまとめた。

（2）本資料については、県のHP等により公表する。

令和2年度 公共事業の再評価に関する県民意見

番号	事業No.	事業名	箇所名	ご意見	意見に対する県の考え方
1	1	道路改良事業	一般国道136号 雲見松崎拡幅	大雨などで雨量が増加して落石や斜面崩壊で通行止めになり住民は迂回により不便を強いられている。また、一車線しかない区間があり、観光バス等がすれ違えず観光客や地域住民にとって不便となっている。 よって、災害に強い安全安心な道路、快適に走行できる道路を要望する。	整備により狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保されるとともに、観光交通のアクセス性の向上にも寄与することから、早期完成を目指し事業を推進していきます。
2	1	道路改良事業	一般国道136号 雲見松崎拡幅	観光ルートや生活道路として重要な役割を果たしているが、大型車のすれ違い困難な箇所が残っており交通に支障をきたしている。 また、南海トラフの巨大地震とそれに伴う津波の危険性も指摘されていることから、災害時の孤立防止対策かの意味からも1日も早い完成を目指し事業継続を要望する。	整備により狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保されるとともに、観光交通のアクセス性の向上にも寄与することから、早期完成を目指し事業を推進していきます。
3	1	道路改良事業	一般国道136号 雲見松崎拡幅	松崎から雲見の区間は、2車線ない道路幅が狭い区間があり大型車どうしのすれ違いが難しい箇所がある。 また、国道に山が迫っており落石や土砂崩壊の危険がある。現に昨年7月に豪雨直後に道路の斜面から土砂崩れがあり復旧のために通行ができなくなったこともあった。 大型車のすれ違いができ、災害に強く安全に通行できる道路の整備を引き続き継続して進めてほしい。	整備により狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保されるとともに、観光交通のアクセス性の向上にも寄与することから、早期完成を目指し事業を推進していきます。
4	2	道路改良事業	主要地方道 吉田大東線	吉田町と静岡空港、島田市へのスムーズなアクセスには欠かせない道路であり、早期の完成を願う。	当該道路の完成により、空港へのアクセス性が向上し、物流や観光面等において更なる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進していきます。
5	2	道路改良事業	主要地方道 吉田大東線	空港周辺に立地する企業への通勤等、当地域へ流入する車両が多い。当地域を通る吉田大東線の現道は通勤、通学に利用されているが、歩道等がない区間等、危険な状況であるため、交通の円滑化と通学路の安全確保が重要であると考え、事業の推進を強く要望する。	当該事業は片側歩道を有する2車線のバイパス道路を整備するものであり、完成により通学路の安全性向上や交通円滑化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進していきます。
6	2	道路改良事業	主要地方道 吉田大東線	令和2年度末見込みの進捗状況が34%となっている。更なるコスト縮減を検討し早期完了を強く要望する。	引き続き予算の確保に努めるとともに、工事のコスト縮減を図り、早期完成を目指して事業を推進していきます。
7	2	道路改良事業	主要地方道 吉田大東線	吉田大東線の南原工区は、藤枝市・焼津市の市街地及び東名高速道路吉田インターチェンジから富士山静岡空港へのアクセス道路であり、志太地区、榛南地区を結ぶ基幹ルートとなっている。また、当該道路は、円滑な東西通行の確保に加え、原子力災害時の避難ルートとしての活用も期待されており、静岡空港建設当時から整備が約束されている工区でもあるため、地元住民からの強い要望も受けている。 現在は「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」事業を活用し、事業を進めているが、今後も当該事業に対する事業費の確保と早期完成に向けたご配慮をお願いする。	当該道路の完成により、空港へのアクセス性が向上し、物流や観光面等において更なる活性化に寄与することから、引き続き、予算の確保に努め、コスト縮減を図りながら早期完成を目指して事業を推進していきます。
8	4	広域河川改修事業	二級河川 堀留川	堀留川流域は道路冠水や家屋被害などの浸水被害も多く、近年の降雨の激甚化による全国各地の浸水被害の惨状も踏まえ、市民の治水事業に対する期待は高まっている。 内水被害を担う浜松市との連携による当該事業の継続及び更なる事業推進により、1日も早い治水効果の発現を期待している。	今後も浜松市と連携して事業を進めるとともに、引き続き予算の確保に努め、コスト縮減を図りながら早期の事業完了を目指します。
9	6	事業間連携河川事業	二級河川 坂口谷川	津波・高潮対策は、地域住民の生命・財産を守ると同時に、事業は地域経済への影響も大きなものがある。早期の効果発現と事業継続を期待する。	引き続き予算の確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期の事業完了を目指します。

番号	事業No.	事業名	箇所名	ご意見	意見に対する県の考え方
10	6	事業間連携 河川事業	二級河川 坂口谷川	平成23年の東日本大震災以降、吉田町では津波防災まちづくりを強力的に押し進めており、地域住民が安心した生活を営む上で、津波を海岸線で阻止するためのハード対策は不可欠なものと考えている中、静岡県で整備を進めている二級河川坂口谷川の水門では、令和2年度から国の補助事業に新規採択されたことで、事業の着実な進捗が見込まれ、地域の期待も非常に高まっている状況である。 また、気候変動による大雨対策も地元住民から多く寄せられていることから、坂口谷川河口部として河川と一体となった治水対策も水門整備と合わせて検討いただきたい。	引き続き予算の確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期の事業完了を目指します。 また、治水対策につきましても、坂口谷川水系河川整備計画に基づく整備を進めるとともに、牧之原市・吉田町と連携した流域治水対策を進めていきます。
11	6	事業間連携 河川事業	二級河川 坂口谷川	静岡県第4次地震被害想定において、当市は海岸域に市街地が形成されていることから、甚大な被害が及ぶことが想定される。津波防災対策は当市における最重要課題となっているため、事業の推進を強く要望する。	引き続き予算の確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期の事業完了を目指します。
12	6	事業間連携 河川事業	二級河川 坂口谷川	令和2年度末見込みの進捗状況が64%となっている。更にコスト縮減を図り早期完了を強く要望する。	引き続き予算の確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期の事業完了を目指します。
13	6	事業間連携 河川事業	二級河川 坂口谷川	牧之原市と吉田町の境を流れる二級河川坂口谷川は想定される巨大地震に対する津波への対策が急務であり、水門整備は流域住民の悲願でもある。 今年度より左岸側の整備が予定され、早期完成を大いに期待している。 津波による被害の心配が解消され、安心して暮らせる環境の実現のため、坂口谷川水系河川整備計画に基づき、水門建設及び河川堤防の整備に配慮願う。	引き続き予算の確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期の事業完了を目指します。 今後も、坂口谷川水系河川整備計画に基づく整備を、牧之原市・吉田町と連携して進めていきます。
14	7	総合流域 防災事業	一級河川 境川	ゲリラ豪雨等に代表されるように雨の降り方は、昔に比べて短時間に激しい雨が降るようになってきているが、この事業が進むにつれ、体感として、境川付近の家屋の浸水、道路の冠水の頻度が明らかに少なくなってきたように感じる。 今後予定している新橋の付近は、道路冠水がよく起こり、通行止めになりやすい箇所であるため、事業を引き続き進めてほしいと強く思う。	引き続き予算の確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期の事業完了を目指します。
15	7	総合流域 防災事業	一級河川 境川	新橋付近は、毎年、多少の降雨でも浸水被害が発生しており、その際には、周辺道路が通行止めになるなど周辺住民の生活に多大な影響が生じている。 また、近年の豪雨災害を鑑みると、地元住民としては境川の治水に不安を抱いている。このことから、当該事業は治水の向上や浸水被害の解消などに大いに寄与する事業であると考えられることから、早期の事業完了をお願いしたい。	引き続き予算の確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期の事業完了を目指します。
16	7	総合流域 防災事業	一級河川 境川	増水時には新橋付近から越水し通行止めになったことがある。計画区間の早期完成を期待している。 計画区間が完成すれば、久米田地区の浸水は改善されてくると思われるが、その分、下流側に短時間で多くの水が流れることにより、特に畑中や的場地区の浸水被害が懸念される。 整備済みの箇所の所々に土砂が堆積し草木が茂り、河川断面が侵されているところが増えてきている。今後は定期的な浚渫等の管理も必要となってくると思われる。 自然環境を保護した護岸を作り、子供たちが安全に遊べる部分もあれば、自然とふれあえる環境となり、地域の関心も深まると思う。	事業完了に向けて、引き続き予算の確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期の事業完了を目指します。 河川改修は、上下流のバランスをとりながら下流から上流に向かって進めますので、下流の浸水を助長するものではありません。 整備済み区間においては、河川パトロール等を通じて河川内の状態を監視するとともに、定期的な浚渫等を実施するなど、適切な維持管理に努めます。 また、洪水の防止のみならず、周辺景観、生態系に配慮した改修を進めていきます。
17	7	総合流域 防災事業	一級河川 境川	・平田公民館付近から下流部分の浚渫をお願いしたい。 ・右岸側の藤泉院付近の管理用道路の補修をお願いしたい。(木の根でアスファルトが押し上げられている。) ・管理用道路が両岸にあれば、地域住民の利便性が向上する上、住民が触れ合える場が増える。 ・部分的にでも自然護岸など川と触れ合える場があれば地域住民の憩いの場ともなる。	平田公民館付近から下流部分の浚渫については、堆積が著しい箇所から今年度実施します。 管理用道路の補修については対応を検討します。 境川では、屈曲部の解消で生じた空間を活用し、川と触れ合える空間を創出しており、今後も可能な限り、親水を考慮した改修を検討していきます。

番号	事業No.	事業名	箇所名	ご意見	意見に対する県の考え方
18	7	総合流域防災事業	一級河川 境川	<p>令和元年10月の台風19号など、近年、大規模な水害が多発している現況から勘案すると、当該治水対策事業は進めていくことが妥当と思われる。</p> <p>ただし、当該事業には多額の県民からの税金が使用される。事業の必要性等の説明において、下記については分かりにくいので、分かりやすい情報公開に努めてほしい。</p> <p>①事業の必要性の説明において、「境川は、上流域の市街化に伴う流出量の増大により」とあるが、市街化が進むとなぜ流出量が增大するのか。</p> <p>②総便益の説明において、「被害額は洪水による家屋、事務所、農作物、公共土木施設などの被害額と営業停止損失、家庭・事業所における応急対策費用」とあるが、何に基づき、どのような方法により算出したのか。</p>	<p>事業完了に向けて、引き続き予算の確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期の事業完了を目指します。</p> <p>なお、御質問いただいた2点については以下のとおりです。</p> <p>①市街化が進むと、森林や田畑が減少し、浸透や保水する能力が低下するため、結果、河川への流出量が増大します。</p> <p>②「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省水管理・国土保全局 令和2年4月)に基づき算出しております。現時点で、想定の氾濫区域内における家屋等の直接被害額と営業停止損失等の間接被害額を便益として算出しております。</p> <p>今後も事業の必要性や進捗状況について、わかりやすい情報公開に努めます。</p>
19	8	通常砂防事業	立花寺沢	<p>この区域は、住居が20世帯ほどあり、これは立花地区全約60世帯の3分の1にもあたると。また、この地区には、立花自治会館や地元消防団などの地域の防災拠点となる施設もあり、重要な区域である。</p> <p>過去には寺沢より土砂の流出があったと聞いており、近年の災害の激甚化により、土石流発生の可能性は十分にあると思われる。土石流が発生した場合、立花地区が分断され、北側の地区は迂回路もないため、「孤立」の危険性がある。</p> <p>そのような中で、砂防施設の設置は大変にありがたく、地域の安心安全を守るうえで不可欠であると考えている。</p> <p>防災施設は、平時には役に立たない地味な施設と思われがちであるが、大雨時等には非常に心強いものとなると思う。今後は、県として設置された防災施設の「効果」(砂防堰堤での土砂捕捉など)についてアピールをしていけば、更に県民の理解が得られるのではないかと考える。</p>	<p>引き続き、予算の確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期の事業完了を目指します。</p> <p>また、砂防施設の効果事例等について、ホームページにより広報するとともに、小中学生への出前講座や地域住民への説明会などを通じて、施設効果の情報発信に努めます。</p>
20	17	急傾斜地崩壊対策事業	水川橋向	<p>水川地区の急傾斜地崩壊による被害を未然に防ぐため必要な事業だと思う。事業継続をお願いしたい。</p>	<p>引き続き、予算の確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期の事業完了を目指します。</p>
21	18	急傾斜地崩壊対策事業	平松藪下B	<p>事業着手されてから長年の年月が経っており、この間、数回にわたり土砂崩落の被害が出ており自治会として心配している。未着手のところがあり、ぜひとも今後も継続してもらいたい。</p>	<p>引き続き、予算の確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期の事業完了を目指します。</p> <p>また、県では、市や地域住民の協力と理解を得ながら、緊急度や保全対象などを考慮しつつ、順次、事業を推進して参ります。</p>
22	20	海岸(高潮)事業	沼津港海岸	<p>事業実施による効果が大きいと思うので、なるべく早く完成させてほしい。住民の防災に対する避難意識が重要になってくると思うので、事業実施による整備の両方の向上で災害から生命を守ることができると思う。</p>	<p>事業は順調に推移しており、津波防護ラインの開口部も残り1箇所となったため、今後も引き続き、予算の確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期の事業完了を目指します。</p> <p>東日本大震災以降、びゅうお(沼津港航路水門)の展望施設を避難施設として活用しており、津波避難訓練等を通じて今後、より一層の防災意識の向上を図ります。</p>
23	21	港湾改修事業	下田港	<p>下田港は避難港なので、台風の時には稲生沢川沿いに川をふさぐように船が係留されているため、早急に棧橋を整備する必要があると思う。</p>	<p>今年度、棧橋最終区間の工場製作に着手しましたので、令和4年度の完成に向け、事業を推進していきます。</p>
24	22	街路整備事業	都市計画道路 焼津広幡線 (越後島工区)	<p>当該路線は、災害時の救急・救命活動や支援物資の輸送等のための重要な道路網の一部であり、重要物流道路にも指定され、平常時・災害時を問わず安定的な物流を確保する重要な道路輸送網としても位置づけられている。このため、早期の完成を願う。</p>	<p>引き続き買収箇所から先行して整備を進めるとともに、残る未買収用地について早期の取得に努めます。また、今後も予算確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期完成に向け事業を推進していきます。</p>

番号	事業No.	事業名	箇所名	ご意見	意見に対する県の考え方
25	22	街路整備事業	都市計画道路 焼津広幡線 (越後島工区)	工事を始めて何年も経過しているが、どうも進捗が遅い様に思えてならない。全線開通が待ち遠しい。完成したらこの区間は快適な気持ちの良い道路である事は誰もが認めています。 通行していていつも思う事がある。 1.通行規制が非常に長いにもかかわらず、作業員の人数が少ない 2.使用(工事)重機や建設機械が案外少ない 3.工事業者の稼働人員確保に苦慮しているのか？ 工期短縮に最大限努力して頂きたい。	引き続き買収箇所から先行して整備を進めるとともに、残る未買収用地について早期の取得に努めます。また、今後も予算確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期完成に向け事業を推進していきます。 現在実施している藤枝市区間の工事については、安全で効率的に施工ができるよう工夫しながら早期完成に向け工期短縮を図っていきます。
26	22	街路整備事業	都市計画道路 焼津広幡線 (越後島工区)	焼津広幡線の継続はもちろんであるが、計画ではR10供用予定のようであるが早期完成のお願いと同時にアクセス道路の見直しを。又本線アクセスとの交差点に必ず信号機を。近い将来、交通量が多く危険が生じて要望してもなかなか設置してくれない。だったら最初からの計画を。	今後も予算の確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期完成に向け事業を推進していきます。また、道路を利用する方の安全確保や円滑な通行については、今後、公安委員会や焼津市役所など、関係機関と協議して対応を検討していきます。
27	22	街路整備事業	都市計画道路 焼津広幡線 (越後島工区)	事業継続妥当である。コロナウィルス蔓延、経済低下等による工事中の遅延が懸念されるが予定通りに進むことを願っている。 本線工事は焼津市の都市計画マスタープランにおいて「海・山・川」豊かな自然が感じられる環境を大切に、安心していつまでも住み続けられる都市を目指し、特に本線拡幅工事は焼津市の玄関口の整備であり、焼津市藤枝市境から東名高速道路焼津インター付近の産業・観光交流拠点位置付けられており東名、国道一号線、国道一号バイパス、150号バイパス等幹線に交差しており災害時にも緊急輸送道路としても利用される。	引き続き買収箇所から先行して整備を進めるとともに、残る未買収用地について早期の取得に努めます。また、今後も予算確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期完成に向け事業を推進していきます。
28	22	街路整備事業	都市計画道路 焼津広幡線 (越後島工区)	4車線化により物流・防災として重要性が高まる。その本線に交差する地域の道路で、その沿道の運送業、サービス業の車両が本線とスムーズな流入入ができるような交差点をつくることも重要だと思う。 越後島の地域内には歩道というものがなく、特に現路線は路側帯しかなく、自転車の通行が自動車と同一の車道上でとても危険です。幅員4.5mの専用の自転車歩行者道ができることに期待します。また、ここに樹木や草花のエリアのような歩行者・自転車の障害物になる物は設置しないようお願いします。 900mの区間の工事期間が令和10年度までと、かなり長期間となる。東名高速道路の函渠工事が令和5年夏頃まで、その後、藤枝の方向に道路の拡幅工事を行うと聞いている。900mという短い区間だが、各々の工事区間のその工事期間が設定されていれば公表をお願いしたい。	現時点では、幅員4.5mの自転車歩行者道の設置を計画しており、縁石や植樹帯などの具体的な構造については、今後、公安委員会や焼津市役所など、関係機関と協議していきます。 工事の進捗状況については、HP等への事業紹介のほか、今後、SNSを活用した広報や現場見学会などを予定しており、積極的に発信していきます。
29	22	街路整備事業	都市計画道路 焼津広幡線 (越後島工区)	当地区は、焼津広幡線を挟んで、東西に260世帯を有する地区であり、近年は交通アクセスの利便性から、トラックターミナル事業者の進出により朝夕の通勤時には、当該事業概要の通りかなりの交通渋滞が発生している。 その様な中、当該道路を跨いだ区民の往来も頻繁にあり、軽車両や歩行者の安全確保のための隧道の建設は、必要不可欠のものとする。 高齢化が進む中、安心して道路横断が出来るような設備のご検討をお願いする。	本線へのアクセスや横断を安全かつ円滑にできるよう、現在、周辺市道の整備を合わせて行うことを予定しています。今後も引き続き、公安委員会や焼津市役所など、関係機関と協議していきます。
30	22	街路整備事業	都市計画道路 焼津広幡線 (越後島工区)	意見:事業を継続し、早期に完成することを望む。 ・本事業、主幹線道路を整備することで、日常的には通勤時間帯の混雑の緩和、交通量の増加による自転車、歩行者への危険性の低減と安全確保が確実に達成することができる。 ・また、近年の気候変動による災害は、発生する場所、規模共に想定外の状況が多く、本道路整備は、災害発生後の復旧に大きな役割を期待することができる。	引き続き買収箇所から先行して整備を進めるとともに、残る未買収用地について早期の取得に努めます。また、今後も予算確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期完成に向け事業を推進していきます。

番号	事業No.	事業名	箇所名	ご意見	意見に対する県の考え方
31	22	街路整備事業	都市計画道路 焼津広幡線 (越後島工区)	<p>事業を継続し、早期に完成を図るべきと考える。</p> <p>1.本線は、東名高速道路や新東名高速道路等の広域連携軸とを結ぶ重要な路線であり、本線の整備により市街地内外の移動の円滑や安全性の向上に繋がる。</p> <p>2.また本線は、静岡県地域防災計画において第1次緊急輸送路に指定され、さらに平成31年4月には重要物流道路にも指定され、平常時、災害時を問わず安定的な物流を確保する重要な道路輸送網としても位置付けられている。</p> <p>3.焼津IC周辺は、焼津市都市計画マスタープランにおいて、物流・生産機能の充実などによって産業・観光交流促進地域にもなっている。よって本線は一次産業の六次産業化の担い手及び推進する機能も有している。</p> <p>4.これらの必要性は、今後の少子高齢化による交通量減少を睨んでも減少するどころか一層高まっていくと予想される。</p> <p>5.こうした状況下、費用対効果も見込まれ、また、用地買収や工事も順調に進捗していることから、事業を継続し、早期に完成を図るべきと考える。</p>	<p>引き続き買収箇所から先行して整備を進めるとともに、残る未買収用地について早期の取得に努めます。また、今後も予算確保に努めるとともに、コスト縮減を図り、早期完成に向け事業を推進していきます。</p>
32	22	街路整備事業	都市計画道路 焼津広幡線 (越後島工区)	<p>4車線化が完了したら、魚センターに入る車両渋滞は解消されるか？現状では解消されると思えない。解消する為に、魚センターに入る車両の動線を変更する必要あり。ICを出て、即右折を止め、遠回りして魚センターに入るようにできれば効果がでると思う。</p>	<p>当箇所の渋滞解消及び道路を利用する方の安全確保や円滑な通行については、今後、公安委員会や焼津市役所など、関係機関と情報共有し、協議していきます。</p>
33	23	街路整備事業	都市計画道路 谷田幸原線 (幸原町工区)	<p>当道路は、国道1号から長泉町へ繋がる、三島市内を東西へ横断する道路であると聞いている。</p> <p>三島市内は資料のとおり、特に東西方向の道路が少なく、国道1号や大通り、さらに三島駅南口前の道路などに慢性的な交通渋滞が発生している。</p> <p>現在、谷田幸原線は、国道1号から三島市壱町田までが開通しており、その先の徳倉や幸原町で事業を行っているとのことであるが、三島の市街地では、三島駅前に東急ホテルが開業し、また、近いうちに再開発も予定されていることから、これからも市街地への交通量が増加することが想定されるので、できるだけ通過交通を排除するためにも、谷田幸原線の早期開通をお願いしたい。</p>	<p>引き続き、来年度予定している開通に向け、予算確保に努めるとともに、残る道路工事を進め、早期完成に向け事業を推進していきます。</p>